

# ナーシングフレンズ 1年目の歩み ～地域の方々とのボランティア活動を通して～

看護学部ボランティアサークル「ナーシングフレンズ」 三尾菜々実、明野孔玲亜

## 《看護学部ボランティアサークル「ナーシングフレンズ」》

看護学部の学生のためのサークルで、総勢 50 名で活動しています。

## 《目的》

県立大学看護学部として、県内外における医療福祉のニーズを抱える方々への支援を行うこと。それによって、看護学生としての成長と看護関連領域の課題解決に貢献する。

## 《事業内容》

医療福祉のニーズを抱える方々への支援・交流活動の主催と参加

## 《活動実績》

8名で  
参加

①富山子どもきょうだい会  
(富山県空港スポーツ緑地)



4月

8月

②納涼祭ボランティア  
(老人保健施設 チューリップ苑)

13名で  
参加



③でこぼこ保護者会 縁日ボランティア  
(五百石公民館)



7名で  
参加

9月

④ふなはしわくわくおしごと村  
看護体験 (舟橋会館)

9名で  
参加



⑤富山子どもきょうだい会 (速星公民館)



4名で  
参加

10月

⑥お泊りイベントのお手伝い  
(リスの森)

2名で  
参加



10名で  
参加

⑦イベント運営ボランティア  
「大ふーらり市」(子供歌舞伎曳山会館)



## 《活動の実際》

### [ 富山子どもきょうだい会の方々と活動 ]

#### ① 富山県空港スポーツ緑地でのボランティア

難病や障害がある子どもやその家族の笑顔のために、理解や支援を求める活動やイベントをされている「富山子どもきょうだい会」の方から依頼を受け、子どもたちと触れ合いました。公園の広場では、保護者の方同士での交流が行われていました。その空間で子どもたちも楽しめるように、富山子どもきょうだい会の方の協力を得て遊びの場を提供し、コミュニケーションや工作などを通して、発達の支援を兼ねた見守りを行いました。



#### ⑤ 速星公民館でのボランティア

4月の活動に引き続き、遊びの内容を変更して、子どもたちの遊びの支援を行いました。天候の悪化により屋内での活動となりましたが、ボトルウェーブやスライムをつくる遊びを通して、子どもたちや保護者の方々と交流しました。工作では、子どもたちの制作過程に着目し、「上手だね」「綺麗にできたね」などの、子どもたちが自信をもてるような声かけをしつつ、保護者の方々とも会話をしながらその様子を見守りました。

### [ でこぼこ保護者会の方々と活動 ]

#### ③ 五百石公民館での縁日ボランティア

発達のでこぼこがある子どもをもつ保護者のコミュニティである「でこぼこ保護者会」の方から依頼を受け、縁日イベントとして、わなげや千本引きなどを子どもたちに楽しんでもらいました。子どもたちが成功体験を得られるよう、それぞれの発達段階に合わせ、遊びの難易度を変えて対応しました。また、子どもたちが上手にできたことを、保護者の方と一緒に喜び、楽しい時間を共有しました。



#### ④ ふなはしわくわくおしごと村での看護体験ボランティア

バイタルサインを測定したり、包帯を巻いたりするなどのブースを設置し、未就学児～小学生の子どもたちを対象に、看護師の職業体験をしてもらいました。小児看護学講座の先生方にも協力していただき、子どもたちが、普段はなかなかできない体験を家族と共に楽しめるように準備を進め、当日につなげることができました。

## 《活動を通しての学び》

今年度は、主に子どもやその家族と関わるボランティア活動を行いました。複数の団体から依頼をいただき、継続的な関わりがあったことで、医療的な支援を受けながら地域で生活をする家族のあり方や、地域のコミュニティが担う役割、看護学生として行える支援などへの理解を深めることができました。